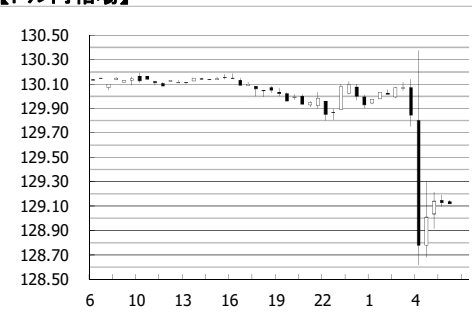


みずほCustomer Desk Report 2022/05/06 号 (As of 2022/05/04)

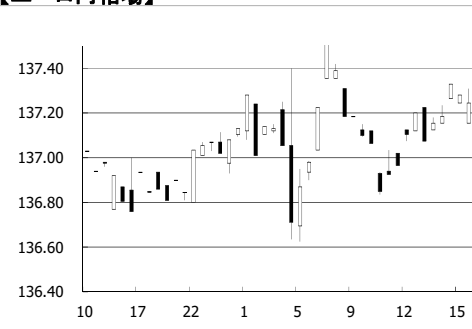
【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	-
TKY 9:00AM	130.13	1.0527	137.03	1.2495	0.7101
SYD-NY High	130.37	1.0631	137.40	1.2637	0.7265
SYD-NY Low	128.62	1.0507	136.63	1.2453	0.7089
NY 5:00 PM	129.12	1.0622	137.23	1.2636	0.7256
NY DOW	34,061.06	932.27	日本2年債	-	-
NASDAQ	12,964.86	401.10	日本10年債	-	-
S&P	4,300.17	124.69	米国2年債	2.6533	▲13.01bp
日経平均	-	-	米国5年債	2.9254	▲9.99bp
TOPIX	-	-	米国10年債	2.9451	▲3.30bp
シカゴ日経先物	27,455	360	独10年債	0.9750	2.25bp
ロンドンFT	7,493.45	▲67.88	英10年債	1.9640	0.75bp
DAX	13,970.82	▲68.65	豪10年債	3.4900	18.60bp
ハンセン指数	20,869.52	▲232.37	USDJPY 1M Vol	10.61	▲1.43%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	10.75	▲1.00%
NY金	1,868.80	▲1.80	USDJPY 6M Vol	10.43	▲1.00%
WTI	107.81	5.40	USDJPY 1M 25RR	0.19	Yen Put Over
CRB指数	314.27	7.48	EURJPY 3M Vol	11.15	▲0.88%
ドルインデックス	102.59	▲0.88	EURJPY 6M Vol	10.95	▲0.70%

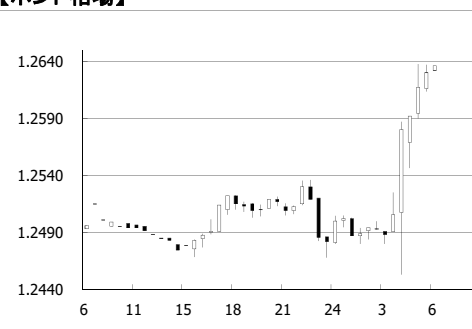
【ドル円相場】



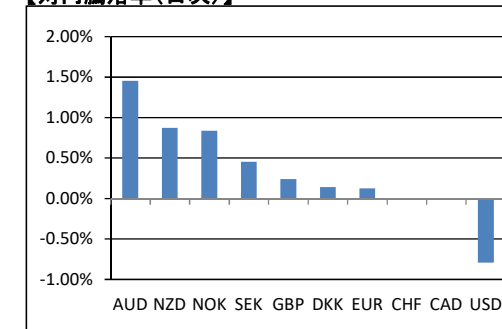
【ユーロ円相場】



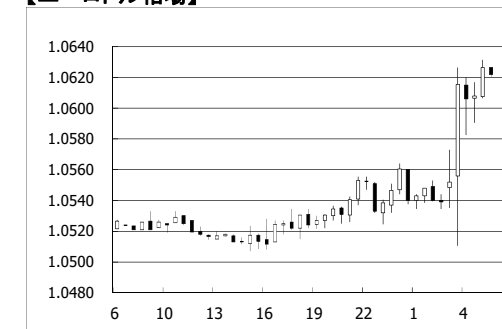
【ポンド相場】



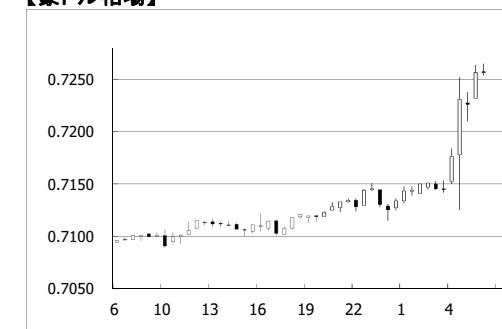
【対円騰落率(日次)】



【ユーロドル相場】



【豪ドル相場】



東京	東京時間のドル円は130.13レベルでオープン。引き続き日本休日であり、参加者が少なく流動性の薄いマーケット。NY時間にFOMC政策発表を控える中での様子見姿勢も強く、ドル円は10銭という狭いレンジ内の推移に終始。結局、130.16レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン時間のドル円は130.16レベルでオープン。アジア時間の流れを引き継ぎ、様子見ムード。米長期金利が軟調に推移した事で、ドル円も値を下げ129.93レベルでNYへ渡った。
ニューヨーク	ニューヨーク時間のドル円は129.93レベルでNYオープン。朝方は米4月ADP雇用統計結果が予想を大きく下回る、ドル円の反応が限定的となるが、一旦ドル売りが持ち込まれ129.80まで下押しする。その後は米4月ISM非製造業景況指数が予想を下回ったが、ドルが買い戻されドル円は130.12まで戻す。その後はFOMC結果発表を午後控へ、方向感の無い推移が続く。注目のFOMCでは全会一致でFF金利を50bp引き上げることが決定されたことが明らかになり、最も効派のブラッド・セントリス連銀総裁の反対票(75bp利上げ主張)が見られず、バランスシート縮小開始が一部で予想されていたすぐにはなく、6月1日からとされたことからハト派と取られ129.75まで下落する。その後開始されたパウエル議長の記者会見でインフレがあまりに高いとの発言があり、130.37まで戻す。その後50bpの利上げは今後2回の会合で検討される等、予想範囲内の発言が続いたが、75bpの利上げがあるか？の質問に対し75bpの利上げは積極的に考えていないと回答したこと、強まっていた次回会合での75bpの利上げ期待が後退。ドル売りとなり130円丁度を抜け、その後も更に下落し、129円丁度を抜け、128.62まで下落する。その後は急落した米金利が下げ渋る展開に129円台まで戻し、129.12レベルでクロスした。一方、ユーロは1.0531レベルでオープン。朝方はドル売りが先行し1.0555まで戻す、その後はドルが買い戻されたことから1.0525まで反落するが、徐々にFOMC結果を控え方向感なく推移する。午後はFOMC結果を受け一旦上下するものの、最終的にはドル売りに1.0631まで戻し、1.0622レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。